



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅し、カーブをゆるくします

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。(地元住民)
- ・道幅が狭く、急勾配・急カーブで特に冬期は凍結しやすく危険。(地元住民)

事業前

- ◆ 道路幅が狭く、急勾配・急カーブ区間があり、安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 車道の拡幅、急勾配・急カーブ区間の解消に安全な通行が確保されます。



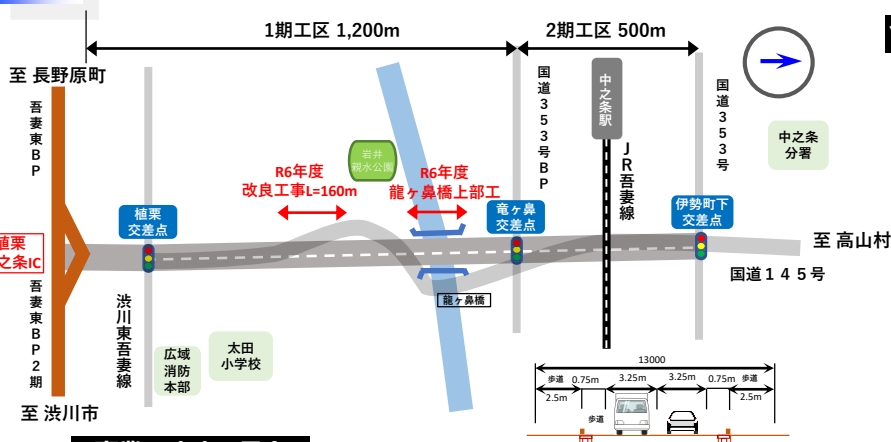
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：東吾妻町植栗 ～ 中之条町伊勢町
- 事業内容：現道拡幅 延長 1.7km
道路幅 13.0m
- 事業期間：平成25年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、1期工区の龍ヶ鼻橋上部工と道路改良及び2期工区の用地取得を進めます。



事業開始 ●

● 事業完了